



No.112 2010. 12

発行 真言宗豊山派
北田山宝泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真琴

納骨堂運用開始

旧本堂はこの夏以来大師堂として姿を変え皆様にお参りいただけるようになりました。手違いがあり、まだ大日堂部分は補修中ですが今年中には完成させるよう督励しているところです。

さて納骨堂、大師堂に付設された大日堂の地下部分を納骨室としてお遺骨をお納めします。大日様と地下納骨室はパイプでつながっていて一体となっており、普段のお参りは大日様を通してとなります。お遺骨をお預かりするための要項も会議を重ねて決定したところで、運用を開始するにあたり説明会を下記の通り開催致します。そして実際の間をご覧いただきたいと思ひます。るり光をお読みの檀家の皆様に限らずご関心のある方の出席は大歓迎、参加希望の方は寶泉寺までご連絡下さい。

☎ 04-2943-2467

時 1月29日(土) 午後1時～3時半
所 寶泉寺 「るり洞」

ところでここ数年、社会の大きな変わりようが話題になっていますが、葬儀やお寺をとりまく環境の変化も例外ではありません。無縁社会、無縁死、直葬など伝えられる情報も多くなっています。寶泉寺の納骨堂開設もこのような社会の要請に寺院としていかに対応できるか、すべきかという問題に端を発しています。

今回の説明会にあたりお二人のゲストをお招きし、日頃の活動から生の情報をお聞きすることに致します。

「プロジェクトひとなみ」の活動メンバー

勝 桂子 さん (葬送を考える行政書士)
石原利恵子 さん (葬儀社 石原企画代表)

「プロジェクトひとなみ」からのメッセージ。

「プロジェクトひとなみ」は、僧侶と一般のかたの橋渡しを願い、死生を考える専門家の交流をめざす非営利の任意団体です。私どもが普段の活動の中で知り得た葬儀や法要のこと、お寺とお檀家の関係、「聞きたいけれど聞けない話」などを織り込みながら現況をお伝えし寶泉寺様のお役に立てたらと思っております。

仏像・声明講座開催

先日、宝泉寺近くの富岡公民館主催で仏教講座が開催されました。本講座は1, 2回目に仏教美術、3, 4回目に仏教音楽をそれぞれテーマに全4回で構成され、3回目には声明講座が、そして最後の4回目には宝泉寺でもおなじみの大般若転読会が富岡公民館を会場に250名もの聴衆のもと営まれました。

今回市報などをご覧になった方々の申込であつという間にチケットは完売したそうです。寶泉寺からのお知らせはしなかったのですが、後で何人かの方から「大般若行きましたよ」というお話がありました。

以下に、4回の全日程に出席された二見孝さんからの寄稿文を掲載いたしますので雰囲気を感じ取っていただければと思います。

仏教講座に参加して 二見 孝

先日「声明（しょうみょう）」に触れる機会を得た。富岡公民館主催の「仏像・声明鑑賞講座」においてである。これまでも何度か聞いたことはあったが、今回は宝玉院住職（所沢市三ヶ島）新井弘順師の解説入りである。前回（この日も当宝泉寺の副住職さんも実演された。）、同師から仏教音楽「千年の声・声明について」と題して、声明の再発見、歴史、音律、記譜法などこと細かく講義をいただいた上での鑑賞である。師は声明の第一人者的存在であり、その解説は、ユーモラスな語りの中に長年の研究、経験が体现され、たいへん興味深いものがあり楽しく拝聴させて頂いた。機会あればもう少し深くお聞きしたいところである。

お話によると、声明はお経に節（ふし）がついたもので、日本の古典芸能の起源と考えられており、その歴史、音楽性についてはキリスト教のグレゴリオ聖歌とともに、優れた宗教音楽として評価されているとのこと

である。

声明は至極優雅である。今回は紫、黄緑、黄、金茶の色の袈裟を着た13名の僧侶により、ほら貝の音を合図に、上堂、三宝礼、如来唄、散華、対揚、表白、大般若転読、東方讚、錫杖経、般若心経、諸真言、退堂と1時間10分に亘って実演された。唄(ばい)とはほら貝をも意味し、一つの音を延々と伸ばしていくことをいうのだとのこと。

声明に耳を傾け、ゆったりとした時の流れを感じながら、時折混じる聞きなれた言葉にお経であることを気付かされながら、1200年余り前から営々と唄い継がれた日本の古典音楽に心底聞き入る。それは西洋音楽とは全く異なる心への響きであり、穏やかな安らぎとともに、そこに日本人の心のふるさつを感じるものであった。そしてそれは、私にとってこの上ない至福のひと時に成り得るものでもあった。

講師兼お導師を勤められた新井弘順先生は、毎年、宝泉寺の施餓鬼・大般若法要でお経の音頭としておられ、皆様にもおなじみの方です。一つのことを極められている先生が近くにいらっしゃるということは本当に幸せなことです。

さて、鬼に笑われそうですが、来年も「ミューズ」での声明コンサート「魂の讃歌 2011」の開催が決定しております。日時は4月19日(火)の19時から。

チケットは2月1日から3千円で販売開始になります。皆様どうぞお楽しみに。(了)



朝のお勤めのご案内

毎月8日と21日、朝8時より

冷暖房完備の宝泉寺大師堂で現在、お薬師様とお大師様の縁日である8日と21日に15分程度のお勤めを皆さんと一緒にしています。お経本はお寺でご用意しておりますので、興味のある方はお気軽にお出かけください。

お勤め終了後はお茶を一服。和やかな時間を皆様と過ごすことができればと思います。

長谷寺参拝のお誘い

来年6月初旬に宝泉寺団体参拝を予定しています。今回は平成19年。4年ぶりの団参です。

新緑の時期に団参で長谷寺を訪れるのは初めてのこと。しっとりとした紅葉とまた違ったさわやかな長谷寺を皆様と一緒に堪能できることを楽しみにしております。

詳細は追ってご連絡致しますが、お問い合わせは宝泉寺までいつでもどうぞ。

年 回 表

平成23年

一 周 忌	平 成 22 年
三 回 忌	平 成 21 年
七 回 忌	平 成 17 年
十三回忌	平 成 11 年
十七回忌	平 成 7 年
二十三回忌	平 成 元 年
二十七回忌	昭 和 60 年
三十三回忌	昭 和 54 年



年回表に命日を照らし合わせるとき、ぜひ他の仏様の命日もあわせてご確認下さい。こちらも確認に努めます。ご不幸のお知らせも速やかに当方までお願い致します。

元 旦 お 経 の 会

午前0時 午前9時 の2回

例年のごとくに新年のお勤めと顔合わせを。ご都合の良い時間においで下さい。数年前からお勤め後、集合写真を撮っています。毎年同じ条件で、いわば定点撮影、10年、20年後がたのしみです。

寶泉寺駐車場

この数年来、近辺の道路事情がかわり寶泉寺前の道路の通行量がとても多くなりました。それにつれて道路沿いの駐車場の車の出入りにはよほどの注意が必要となっています。

普段はどうぞ塀の内側の
駐車場をお使い下さい。

車での御来山はくれぐれもご注意の程をお願い致します。

編 集 後 記

※今年もあつという間の1年、早い夕暮れについて自分の人生とも重ねたくなる。しかし冬至が過ぎればあとは日が高くなるだけ、一陽来復、我が人生もそうありがたい。境内になったユズを大師堂に供えてありますので皆さんでどうぞ。
※夏頃から目がヒリヒリ、ゴロゴロなんとなく違和感がして先月眼科へ。ドライアイだそう
で治らないとのこと、点眼が欠かせません。

※去年12月、るり光の編集後記にハラハラドキドキの政治ショーと書いてあった、今年はその時以上のハラハラドキドキ、これをなんと表現するのだろう・・・、朝鮮半島がキナクサイ、とばっちりが、こちらにこないよう政治、外交の力で私たちを安心させて欲しい。
※ご本尊薬師如来様のご加護あらんことを切にお祈り申し上げます。

Dec.22.2010 (琴)